

第3章 計画目標

第1節 数値目標

将来像の「持続可能で環境にやさしい循環型社会」の実現を見据え、現状分析と将来予測等を踏まえた上で、国の設定した目標値を参考として、この計画の目標値を定めます。

一般廃棄物については、前計画を継承し、国の計画等に沿って、家庭系ごみと事業系ごみの排出量について、それぞれ目標値を設定するとともに、最終処分量の目標値を設定して最終処分量の削減を目指します。また、循環型社会の実現に向けて、新たに再生利用率の目標値を設定します。産業廃棄物については、前計画を承継し、国の計画等に沿って、最終処分量について目標値を設定します。食品ロスの削減量については、SDGs、第4次循環型社会形成推進基本計画及び食品ロスの削減の推進に関する基本方針等の国の目標に合わせて目標値を設定します。

第1項 一般廃棄物

1 1人1日あたりの家庭系ごみ排出量

令和7年度の県民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量を440g/人・日に削減します。

これは、平成30年度実績524g/人・日から16%削減することになります。

2 事業系ごみ排出量

令和7年度の事業系ごみ排出量を451千tに削減します。

これは、平成30年度実績535千tから16%削減することになります。

3 1人1日あたりの最終処分量

令和7年度の県民1人1日あたりの最終処分量を28g/人・日に削減します。

これは、平成30年度実績34g/人・日から18%削減することになります。

4 再生利用率

令和7年度の再生利用率を33.6%に増加します。

これは、平成30年度実績23.9%から9.7ポイント増加することになります。

第2項 産業廃棄物

令和7年度の産業廃棄物の最終処分量を150千tに削減します。

これは、平成30年度実績159千tから5.7%削減することになります。

第3項 食品ロス

令和7年度の食品ロスの量を240千tに削減します。

これは、平成30年度実績266千tから9.8%削減することになります。

【数値目標】

項目	最新値	予測値		目標値
	H30	R7	R12	R7
家庭系ごみ排出量(g/人・日)	524	475	443	440
事業系ごみの排出量(千t)	535	527	522	451
一般廃棄物最終処分量(g/人・日)	34	31	29	28
一般廃棄物再生利用率(%)	23.9	24.6	24.8	33.6
産業廃棄物最終処分量(千t)	159	155	154	150
食品ロス量(千t)	266	265	260	240

※食品ロス量については、SDGsや国の方針に合わせ、令和12年度の目標値を平成12年度(405千t)比で半減となる202千tとします。

